

世界文化遺産

明治日本の産業革命遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業

大牟田の宝もの

三池炭鉱を
学ぼう!

たんとくん



だんたくまさん

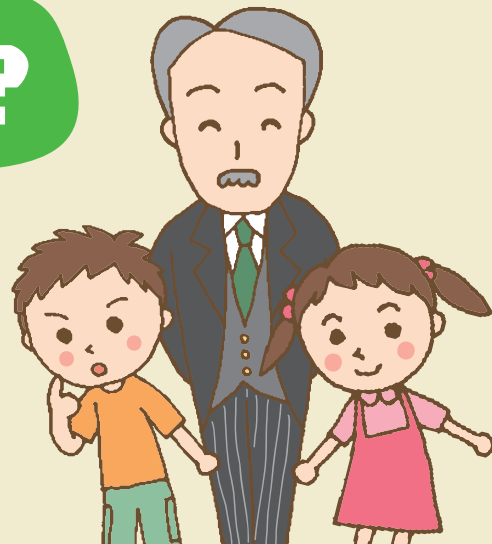


みいちゃん



世界遺産って何だろう？

世界遺産とは、「未来へ伝えていかなければならない人類共通の宝物」として選ばれた、地球上にある自然や景観、歴史的な遺跡や建物などのことです。



世界遺産はどんなものがあるの？

文化遺産

芸術的な建造物や遺跡、記念物、歴史的な景観など、人間が作ったもの。



タージ・マハル(インド)

ムガル帝国の皇帝シャール・ジャハーンが、亡くなった最愛の妻のために建てた美しいお墓です。

自然遺産

地形や地質、生態系、貴重な植物の生息地など、自然のもの。



グレートバリアリーフ(オーストラリア)

宇宙からも確認できるほどの、数十億の生物が集まってできた世界最大のサンゴ礁です。

複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値を持っているもの。



マチュピチュ(ペルー)

標高約2,430mの尾根に建つインカ帝国の遺跡。周辺の広大な自然と合わせて世界遺産に登録されています。

世界遺産はどうやって決めるの？

世界遺産に登録されるには、厳しい審査を受けなければなりません。その遺産の価値が基準に合っていること、将来にわたって守っていく仕組みが整っていることなど、いくつかの条件があります。

文化遺産は
イコモス
ICOMOS
(国際記念物遺跡会議)、
自然遺産はIUCN
アイユシーエヌ
(国際自然保護連合)が
調査を行います。



1

国が世界遺産に
したいものを決めて、
ユネスコ*の世界遺産
委員会へ推薦します。

2

専門の機関が
現地調査を行い、
調査結果をユネスコに
報告します。

3

ユネスコの
世界遺産委員会で
世界遺産に登録するか
どうかを決めます。

*教育、科学及び文化などの活動を通じて世界平和に貢献するために作られた国連の機関の一つ。正式名称は、国際連合教育科学文化機関。

日本にある世界遺産ってどんなもの？

日本では1993年(平成5年)に、法隆寺、姫路城、白神山地、屋久島の4つが世界遺産になりました。その後も登録が続き、2021年(令和3年)までに25の世界遺産が登録されています。

文化遺産

- ① 法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)
- ② 姫路城(兵庫県)
- ③ 古都京都の文化財(京都市・滋賀県)
- ④ 白川郷・五箇山の合掌造り集落(岐阜県・富山県)
- ⑤ 原爆ドーム(広島県)
- ⑥ 厳島神社(広島県)
- ⑦ 古都奈良の文化財(奈良県)
- ⑧ 日光の社寺(栃木県)
- ⑨ 琉球王国のグスク及び関連遺産群(沖縄県)
- ⑩ 紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県・奈良県・三重県)
- ⑪ 石見銀山遺跡とその文化的景観(島根県)
- ⑫ 平泉～仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(岩手県)
- ⑬ 富士山～信仰の対象と芸術の源泉(静岡県・山梨県)
- ⑭ 富岡製糸場と絹産業遺産群(群馬県)

⑮ 明治日本の産業革命遺産
 ～製鉄・製鋼、造船、石炭産業
 (岩手県・静岡県・山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県)

- ⑯ ル・コルビュジエの建築作品～近代建築運動への顕著な貢献～
 国立西洋美術館本館(東京都)
- ⑰ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群(福岡県)
- ⑱ 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(長崎県・熊本県)
- ⑲ 百舌鳥・古市古墳群～古代日本の墳墓群～(大阪府)
- ⑳ 北海道・北東北の縄文遺跡群(北海道・青森県・岩手県・秋田県)



自然遺産

- ① 屋久島(鹿児島県)
- ② 白神山地(青森県・秋田県)
- ③ 知床(北海道)
- ④ 小笠原諸島(東京都)
- ⑤ 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島(鹿児島県・沖縄県)

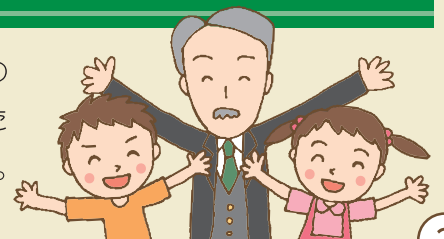


大牟田市にも誕生!

2015年
7月

三池炭鉱・三池港を含む明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産に登録!!

8県11市に広がる「明治日本の産業革命遺産」は、日本の工業が50年というとても短い間にすばらしく発展したことを示しているものとして、評価され認められました。



明治日本の産業革命遺産とは

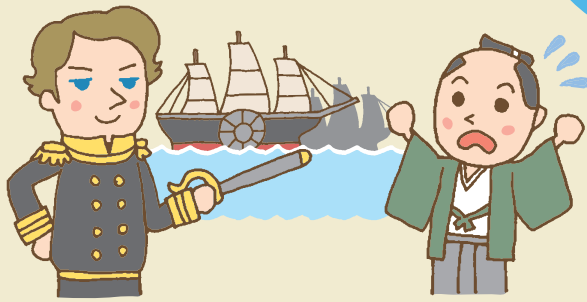
製鉄・製鋼、造船、石炭産業

明治日本の産業革命遺産は、ヨーロッパに始まった産業革命が西洋以外の地域に広まり、初めて成功したことを示す遺産群です。日本は、江戸時代の終わりから明治時代にかけて、外国の技術を学び、様々な産業を発展させていきました。特に製鉄・製鋼、造船、石炭産業を基に、わずか50年余りという短い期間に世界史上でも類を見ない飛躍的な発展をとげました。

時代	1850年代	1910年
	試行錯誤の挑戦	産業基盤の確立
製鉄・製鋼	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島 旧集成館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝 葦山 葦山反射炉 釜石 橋野鉄鉱山 	<ul style="list-style-type: none"> 八幡 官営八幡製鐵所、遠賀川水源ポンプ室
造船	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島 旧集成館、関吉の疎水溝 佐賀 三重津海軍所跡 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎 三菱長崎造船所第三船渠、ジャイアント・カンチレバークレーン、旧木型場、占勝閣 長崎 小菅修船場跡 長崎 旧グラバー住宅
石炭産業	<ul style="list-style-type: none"> 長崎 高島炭坑 三池 三角西港 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎 端島炭坑 三池 三池炭鉱(宮原坑・万田坑・専用鉄道敷跡)、三池港

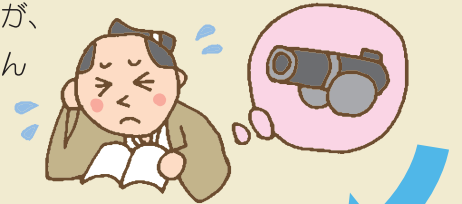
江戸時代末期

日本は約200年もの間「鎖国」によって、外国との自由な貿易や交流を閉ざしていました。幕末になるとアメリカをはじめとする外国の船が日本各地の港に姿を見せ、人々を不安にさせました。



試行錯誤の時代

西洋の技術の高さに衝撃を受けた侍たちは、国を守るために西洋の書物を読み解き、それまでの日本にはなかった蒸気で動く鉄の船や、大砲造りに挑戦していましたが、うまくいきませんでした。



開国により外国との交流が始まる!!

西洋の科学技術の導入

開国後、科学技術の導入のため、多くの外国人専門家が招かれました。その技術を日本の職人が学び、積極的に取り入れていきました。また、明治政府が誕生すると国が繁栄するためには「産業」をもっと発展させるべきだと考え、殖産興業※に力を注ぎ、西洋の科学技術の導入がいっそう盛んになりました。

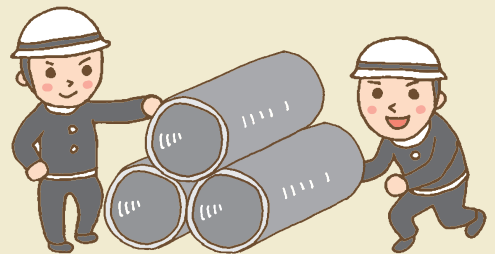


※新たな産業を興し、技術を発展させ国民の生活を豊かにすること。

産業基盤の確立

その後も専門技術を学んだ人々が産業発展のため努力を重ねた結果、日本の近代化を支える重工業(製鉄・製鋼、造船、石炭産業)が急激に発展していきました。

こうして日本は、幕末から明治にかけての約50年の短い間に産業発展を成しとげ、西洋の国々と肩を並べるほどの産業国家になっていきました。



構成資産は 8 県 11 市 23 資産！

三池炭鉱は
エリア7
なのね！



エリア① 萩

- 【1-1】萩反射炉
- 【1-2】恵美須ヶ鼻造船所跡
- 【1-3】大板山たたら製鉄遺跡
- 【1-4】萩城下町
- 【1-5】松下村塾

エリア② 鹿児島

- 【2-1】旧集成館
- 【2-2】寺山炭窯跡
- 【2-3】関吉の疎水溝

エリア③ 蕪山

- 【3-1】蕪山反射炉

エリア④ 釜石

- 【4-1】橋野鉄鉱山

エリア⑤ 佐賀

- 【5-1】三重津海軍所跡

エリア⑥ 長崎

- 【6-1】小菅修船場跡
- 【6-2】三菱長崎造船所第三船渠
- 【6-3】三菱長崎造船所ジャイアント・カンチレバークレーン
- 【6-4】三菱長崎造船所旧木型場
- 【6-5】三菱長崎造船所占勝閣
- 【6-6】高島炭坑
- 【6-7】端島炭坑
- 【6-8】旧グラバー住宅



【1-1】萩反射炉



九州に
こんなに
あるよ！

釜石(岩手県) エリア④

蕪山(静岡県) エリア③

萩(山口県) エリア①

エリア①

エリア②

エリア③

エリア④

エリア⑤

エリア⑥

エリア⑦

エリア⑧

エリア⑦ 三池

- 【7-1】三池炭鉱・三池港
- ＊宮原坑
- ＊万田坑
- ＊専用鉄道敷跡
- ＊三池港
- 【7-2】三角西港

エリア⑧ 八幡

- 【8-1】官営八幡製鐵所
- ＊旧本事務所
- ＊修繕工場
- ＊旧鍛冶工場
- 【8-2】遠賀川水源地ポンプ室



【2-1】旧集成館 反射炉跡



【3-1】蕪山反射炉



【4-1】橋野鉄鉱山 三番高炉跡



【5-1】三重津海軍所跡



【6-7】端島炭坑



【7-1】三池炭鉱宮原坑



【8-1】官営八幡製鐵所旧本事務所*

産業遺産って何だろう？

産業遺産とは、ある地域の産業を支えてきた歴史的な遺跡のことです。鉱山や工場、鉄道などいろいろなものがあります。

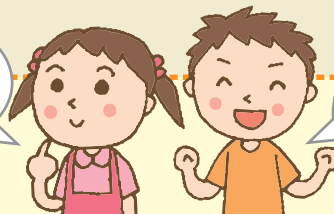


フェルクリングン製鉄所(ドイツ)



アイアンブリッジ峡谷(イギリス)

産業遺産は
日本にも
あるんだね！



「明治日本の
産業革命遺産」は
産業遺産で構成
されてるんだよ！

【世界遺産に登録されている産業遺産】

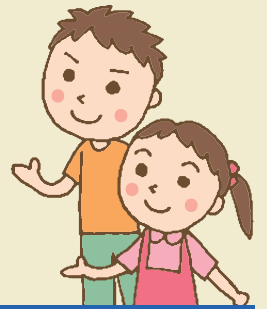
- 石見銀山遺跡とその文化的景観(日本)
- 富岡製糸場と絹産業遺産群(日本)
- フェルクリングン製鉄所(ドイツ)
- アイアンブリッジ峡谷(イギリス)
- ポトシ銀山(ボリビア) など

※写真提供：日本製鉄株式会社八幡製鐵所

「明治日本の産業革命遺産」に含まれる 三池炭鉱・三池港



三池炭鉱は長崎の高島炭鉱に次いで日本で二番目に近代化された炭鉱です。国から三池炭鉱の経営を引きついだ三井が、石炭を大量生産するため、イギリスの最先端のポンプや巻揚機などの機械を導入し、また、石炭を効率よく運ぶために鉄道や港をつくりました。こうした取り組みにより、三池炭鉱は、当時、世界最先端の技術を導入した炭鉱となり、日本最大規模の炭鉱として発展しました。



宮原坑

1898年(明治31年)開坑

【国指定重要文化財・国指定史跡】

現在残っている第二豎坑の櫓と巻揚機室は、1901年(明治34年)につくられました。櫓は高さ約22mあり、鋼鉄製としては日本に残る一番古いものです。深さ160mの坑内への作業員の行き来や、石炭を引き上げるのに使用されていました。また、石炭を掘るときに出てくる大量の地下水をくみ上げて排出することを目的として、世界でも最大級のイギリス製のデビーポンプを備えていました。1931年(昭和6年)に閉坑するまで、近くの三池集治監(今でいう刑務所)の囚人たちを使った「囚人労働」が行われていました。

宮原坑は明治から昭和にかけての三池炭鉱の主力になった坑口です。



第二豎坑櫓

デビーポンプ室壁跡

1tの石炭を掘るのに10tの水を処理する必要があったんだって!



坑口と港を結んだ、三池炭鉱の大動脈。



最盛期は最長150kmの距離があったのね



三池炭鉱専用鉄道敷跡

1905年(明治38年)本線開通 【国指定史跡】

各坑口と港とを結ぶ大動脈。大浦坑から大牟田川河口までの約2.7kmを馬が石炭を運ぶ「馬車鉄道」から始まりました。1890年(明治23年)から、将来の石炭の増産を見こんで、専用鉄道の建設工事が始まり、1905年(明治38年)に本線が全線開通しました。これで、宮原坑などの坑口と三池港が鉄道でつながり、石炭を大量に運ぶことができるようになりました。走っていた機関車は、最初、蒸気機関車でしたが、明治時代の終わりごろから電気機関車が導入されました。



海外へ輸出されていた 三池炭鉱の石炭



100年後を見すえて行われた港づくり。
三池の石炭を世界中へ送り出しました。



三池港

1908年(明治41年)開港

潮の満ち引きの差が最大5.5mと大きい有明海では、大型の船を港に横づけすることが難しかったため、三池港ができるまでは大牟田川河口から小型船を使って長崎県の口之津港や熊本県の三角西港へ石炭を運び、そこから大型船に積みかえて海外へ輸出していました。もっと効率的に石炭を積み出すため、約6年の月日と巨額の費用をかけてつくられたのが三池港です。

三池港ができてからは、専用鉄道を通して運ばれてきた石炭を直接大型船に積みこみ、大牟田から上海やシンガポールなどの海外への輸出が盛んに行われました。三池炭鉱が閉山した今でも国際流通の拠点として稼働し続けています。

三池港閘門

1908年(明治41年)完成

満潮時に開閉し、干潮時でも港内の水位を8.5m以上に保つための水門です。幅12.1m、高さ12.3mの左右2枚の扉は鋼鉄でできています。扉の一部には南米産のグリーンハートと呼ばれるフナムシや水に強く、かたくて水にしずむ木材が使われていました。この装置により1万t級の大型船が港に直接入れるようになりました。



旧長崎税関三池税関支署

1908年(明治41年)開庁

【国指定史跡・県指定有形文化財】

三池港ができたときに一緒に作られた、三池炭鉱の石炭が海外へ輸出されたことを示す重要な施設です。



三池炭鉱の歴史

三池炭鉱の出来事を見てみよう

室町

江戸

明治

1469年
(文明元年)

伝治左衛門が燃える石(石炭)を稲荷山で発見

柳川藩が平野山を開坑(1721年・享保6年)

三池藩が生山を開坑(1853年・嘉永6年)

大浦坑が開坑(1857年・安政4年)

三池炭鉱官営化(1873年・明治6年)

石炭を運び出すために大牟田川河口の航路を拡大(1877年・明治10年)

大浦坑〜大牟田川河口を結ぶ馬車鉄道ができる(1878年・明治11年)

七浦坑が操業開始・三池集治監設置(1883年・明治16年)

宮浦坑が操業開始(1888年・明治21年)

三池炭鉱三井に払い下げ(1889年・明治22年)

横須浜(大牟田川河口)〜七浦を結ぶ炭鉱専用鉄道ができる(1891年・明治24年)

1893年
(明治26年)

勝立坑でデビーポンプを使い始める

勝立坑が操業開始(1895年・明治28年)

1898年
(明治31年)

宮原坑が操業開始

万田坑が操業開始(1902年・明治35年)

1905年
(明治38年)

三池炭鉱専用鉄道(本線)が全線開通

1908年
(明治41年)

三池港が完成

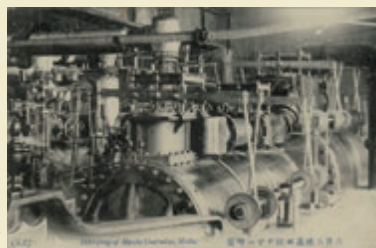
三池港〜万田坑を結ぶ専用鉄道が電気に変わった(1912年・明治45年)
長崎税関三池税関支署・三井港倶楽部が開業(1908年・明治41年)

たき火をしていて
見つけた
そうだよ



燃える石を
発見したときの
様子

デビーポンプ



三池港開門

石炭産業の移りかわり

江戸時代～明治初期

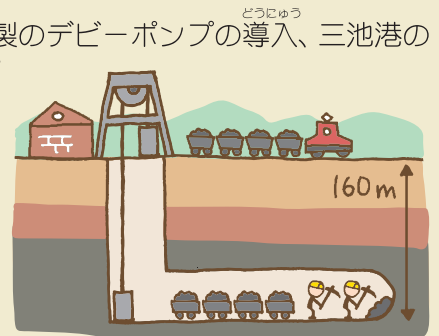
江戸時代の採掘は、クワやつるはしで石炭の壁を壊し、背負いカゴや天秤ザルで坑外へ運びだしていました。坑外からは大八車などを引いて人力で運搬していました。明治初期になると、馬車鉄道が整備され石炭を運ぶ手段が変わっていきました。



明治の大革命

近代的な西洋技術の導入をめざし、蒸気ので動く巻揚機やポンプなどの新しい技術をどんどん取り入れました。専用鉄道の整備や、イギリス製のデビーポンプの導入、三池港の築港などが行われ出炭量も増加していきました。

このころから石炭を活用した化学工業などもますます発展していきました。



石炭化学コンビナート

石炭は、高温で蒸し焼きにすると、鉄を作るときに必要な「コークス」となります。また、コークスを作るときにはガス



令和

平成

昭和

大正

三井化学専用線(旧三池炭専用鉄道)が運行を終了する(2020年・令和2年)
大牟田市が市制施行100周年を迎える(2017年・平成29年)

2015年
(平成27年)

明治日本の産業革命遺産が世界遺産に登録される

宮原坑跡・万田坑跡が国の史跡に指定される
(2000年・平成12年)

宮原坑・万田坑が国の重要文化財に指定される
(1998年・平成10年)

1997年
(平成9年)

三池炭鉱が閉山

宮浦石炭記念公園がオープン(1996年・平成8年)

石炭産業科学館がオープン(1995年・平成7年)

有明坑で火災が起こる(1984年・昭和59年)

出炭量が過去最高657万トンを記録(1970年・昭和45年)

人工島「三池島」が完成(1970年・昭和45年)

三川坑で炭じん爆発事故が起こる(1963年・昭和38年)

三池争議(1960年・昭和35年)

1951年
(昭和26年)

人工島「初島」が完成

昭和天皇が三川坑に入られた(1949年・昭和24年)

戦前の出炭量が最高403万トンを記録(1944年・昭和19年)

三川坑が操業開始(1940年・昭和15年)

宮原坑・七浦坑が閉坑(1931年・昭和6年)

坑内での囚人労働廃止(1930年・昭和5年)

宮浦大斜坑で出炭開始(1924年・大正13年)

四山坑が操業開始(1923年・大正12年)

日本初のコッパース式コークス炉が操業開始。
(1912年・明治45年)



三川坑に入られた昭和天皇



人工島・初島



天皇が
いらっしゃる
くらい有名だっ
たんだね



世界文化遺産に登録決定



石炭産業科学館



三池炭鉱に
関わった人物

三池港を作った團琢磨(1858~1932)

三池炭鉱社の事務長になった團琢磨は、イギリス製の大型排水ポンプ「デビーポンプ」の導入や三池港の築港など、新しい技術をどんどん取り入れました。



「築港をすればいくら100年の基礎になる」の言葉のとおり、三池港は今でも国際港として活躍しています。三池炭鉱の発展や日本の近代工業化にとっても力を尽くした人なのです。



やタールなどが発生します。これらを利用して、石炭から様々な製品を作る「石炭化学」の研究が、明治の終わりごろから始まりました。石炭化学が発展するにつれ、石炭を加工する様々な工場が作られ、日本で最初の「石炭化学コンビナート」が生まれました。

平成の閉山のころまで

大牟田の石炭は多くの工業に用いられ、戦後の日本の復興にも大きく貢献しました。海外の安い石炭に対抗するため、高性能の機械と最先端の技術を用いて採炭を行いました。明治以降、国内外の経済や社会に対して大きな影響を与えてきた三池炭鉱は、1997年(平成9年)3月30日、たくさんの人々に惜しまれながらもその役割を終えました。閉山後も、それまでに培われた技術は、海外の炭鉱で使われています。

大牟田市内の 近代化産業遺産MAP

大牟田市には、市内の様々な場所に現在も多くの近代化産業遺産があります。中には三池港のように、つくられた当時から現在まで稼働している資産もあります。

世は、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産です。



三池港



三池港閘門



旧長崎税関三池税関支署



三池炭鉱専用鉄道敷跡



宮原坑



万田坑



旧三川電鉄変電所



旧三池炭鉱専用鉄道電気機関車



大牟田市庁舎本館



宮浦坑跡(宮浦石炭記念公園)



三池港には
今も大きな船が
たくさん来て
いるね!





勝立坑跡



旧大牟田商工会館



泉橋



人工島 (初島)



三井港倶楽部



旧三池集治監外堀及び石垣
(現県立三池工業高等学校)



三池炭山創業碑



クレーン船「大金剛丸」



焚石山鎮守社稲荷石祠



身近なところに
こんなに
あるんだね!



市内に今も残る
たくさんの施設を
見に行ってみては
いかがかな?



三川坑跡 20

1940年(昭和15年)に、当時の最新技術を駆使し大規模な操業を始めました。大牟田の石炭は戦後の復興にも大きく貢献しています。



大牟田市の世界遺産への取り組み

市内の学校ではこんな取り組みをしています



SDGs

大牟田市立の小・中・特別支援学校は、国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の中から、10の重点目標を選び、ESD(持続可能な開発のための教育)を通してSDGsの達成に取り組んでいます。

●世界遺産学習

市内の学校ではESDを通して世界遺産学習に取り組んでいます。学習を通して学んだことを多くの方々に伝えるため、身近にある世界文化遺産の魅力を掲示物にまとめたり、遺産に関する新聞を作成するなど、様々な啓発活動を行っています。また、宮原坑では子どもボランティアガイドにも取り組んでいます。



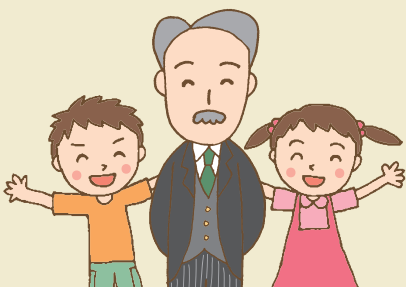
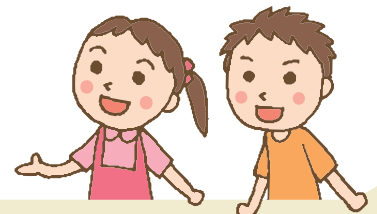
石炭産業科学館 世界遺産インフォメーションコーナー



大牟田市石炭産業科学館の中にある「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産としての価値を伝えるコーナーです。5枚の液晶パネルを使って、8つのエリアを紹介しています。また、三池炭鉱がある三池エリアについて、さらに詳しく学ぶことができます。



ができます。



【問合せ先】

大牟田市役所 世界遺産・文化財室

住所：大牟田市有明町2丁目3番地 電話：0944-41-2515

◎大牟田の近代化産業遺産ホームページ <http://www.miike-coalmines.jp/>

◎大牟田市役所ホームページ <http://www.city.omuta.lg.jp/>

発行：大牟田市



©2016 大牟田市「ジャー坊」